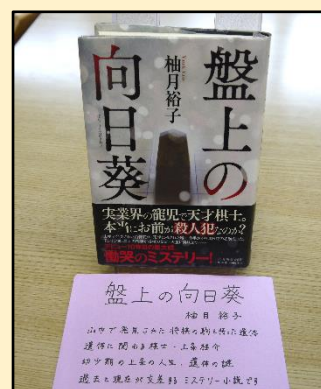
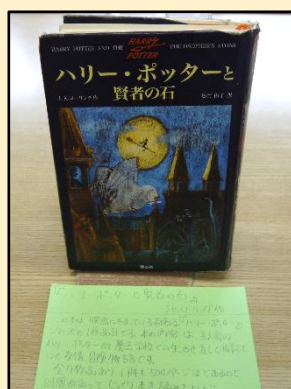
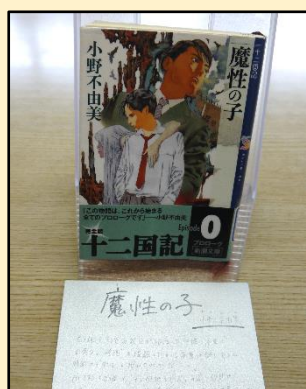


企画展示 2020.2

「じっくり読める本」



『十二国記 魔性の子』

「十二国記は、神仙や妖魔の存在する中国風の異世界を舞台にしたファンタジー小説シリーズである。」と Wikipedia には書かれている。が、この『魔性の子』は現代なのである。これがどう十二の国の話につながるのか。図書館には最新刊まであるのでぜひ読んで欲しい。

『ハリー・ポッターと賢者の石』

ハリー・ポッターシリーズを知らない人は少ないのではないかなと思うが、映画化され、また、テーマパークとして開園もしている。11歳の誕生日に魔法使いだと知らされ、魔法学校に入学する。多くの人と出会い、成長していくポッターを応援したくなるお話です。

『僕はロボットごしの君に恋をする』

2060年東京が舞台。3度目のオリンピック開催って、40年後にオリンピックがまたやってきます。この頃にはAIロボットも普通に活躍している…。そして、ロボットがささやく愛の言葉もプログラミングされているのだろうか。

『盤上の向日葵』

白骨死体と将棋の駒。この駒が名駒だったことから容疑者が絞られるが… 将棋を全く知らなくてもすいすい読めます。逆に駒のことや並べ方がわかるようになります。